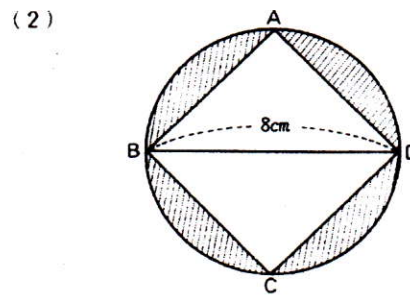
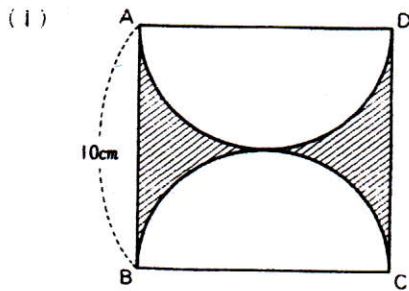
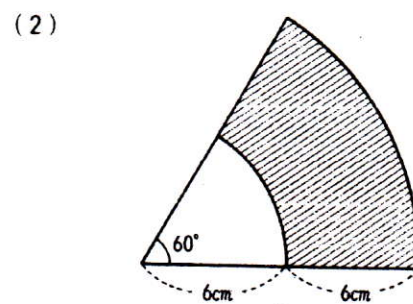
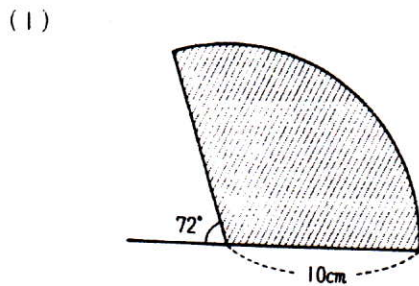


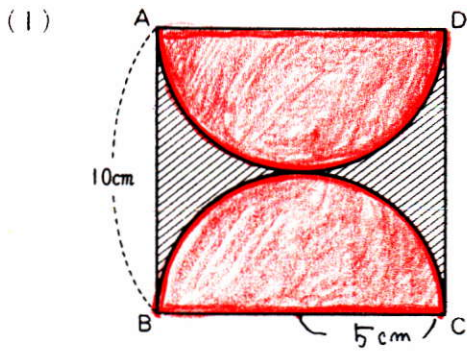
問4 下の図で、四角形ABCDはどちらも正方形です。それぞれの図の斜線部分の面積を求めなさい。ただし、円周率は3.14とします。



問5 下のそれぞれの図の斜線部分の面積を求めなさい。ただし 円周率は3.14とします。



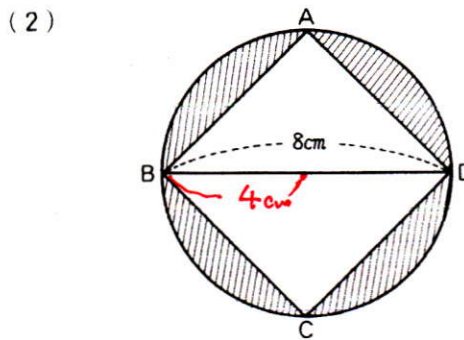
4 下の図で、四角形ABCDはどちらも正方形です。それぞれの図の斜線部分の面積を求めなさい。ただし、円周率は3.14とします。



上の赤色の部分は2つあわせると円1つ分となります。

斜線部分の面積は  
 (正方形の面積) - (円の面積)  
 $10 \times 10 - 5 \times 5 \times 3.14$   
 $= 100 - 25 \times 3.14$   
 $= 100 - 78.5$   
 $= 21.5 \text{ (cm}^2\text{)}$

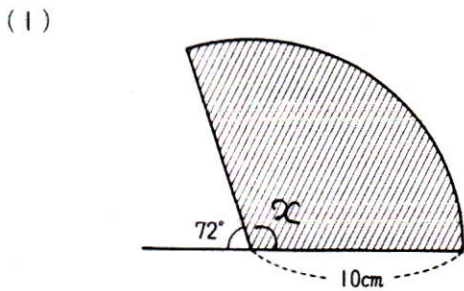
21.5 cm<sup>2</sup>



円の面積から正方形の面積を引きます。  
 対角線の長さが分るときの正方形の面積は、対角線×対角線÷2 ですから  
 求める面積は  
 $4 \times 4 \times 3.14 - 8 \times 8 \div 2$   
 $= 16 \times 3.14 - 32$   
 $= 18.24 \text{ (cm}^2\text{)}$

18.24 cm<sup>2</sup>

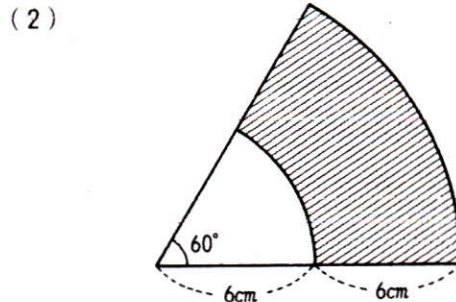
5 下のそれぞれの図の斜線部分の面積を求めなさい。ただし、円周率は3.14とします。



中心角  $x = 180 - 72$   
 $= 108^\circ$

斜線部分の面積は  
 $10 \times 10 \times 3.14 \times \frac{108}{360}$   
 $= 100 \times \frac{108}{360} \times 3.14$   
 $= 30 \times 3.14$   
 $= 94.2 \text{ (cm}^2\text{)}$

94.2 cm<sup>2</sup>



大きいおうぎ形から小さいおうぎ形(半径6cm)を引きます。

半径12cm  
 $12 \times 12 \times 3.14 \times \frac{60}{360} - 6 \times 6 \times 3.14 \times \frac{60}{360}$   
 $= (144 - 36) \times \frac{1}{6} \times 3.14$   
 $= 108 \times \frac{1}{6} \times 3.14$   
 $= 18 \times 3.14$   
 $= 56.52 \text{ (cm}^2\text{)}$

56.52 cm<sup>2</sup>